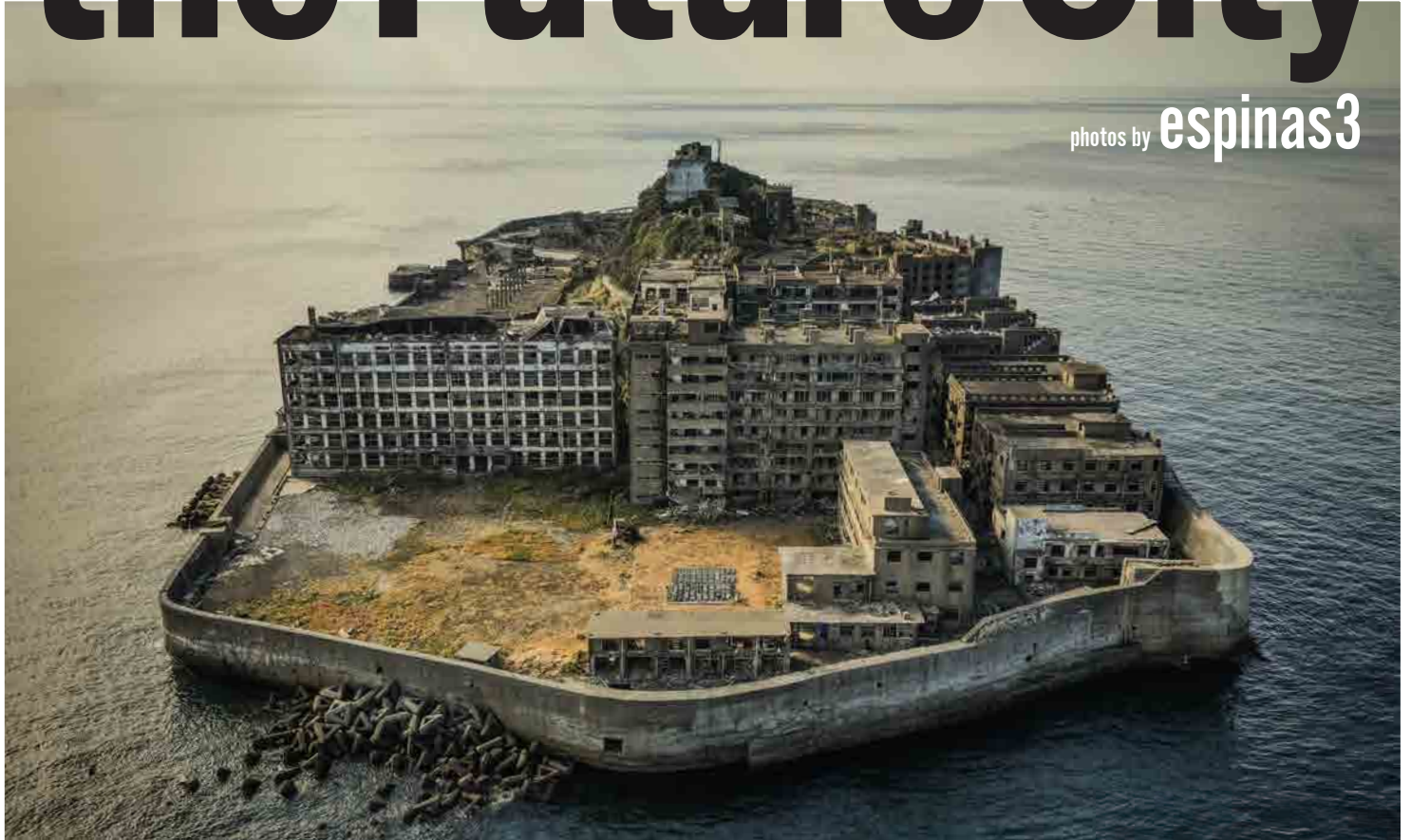


2026年2月刊 (写真集)

# Ruins of the Future City

## 軍艦島飛行

photos by **espinas3**



かつて洋上の未来都市として栄えた炭鉱の島・軍艦島。1974年の閉山以降、朽ちていく建築群と対照的に、鳥たちによって運ばれた種が芽吹き、「緑の島」へと変わりゆく島の景観に魅せられ、四半世紀以上にわたって島に通い続ける写真家が

## 鳥の眼で活写した廃墟の美。



B5判上製・96ページ  
ISBN978-4-907902-41-4  
定価:3,000円+税

espinas3...長崎市在住。1990年代から軍艦島の撮影を始める。以降、廃墟としての、時を越えた美しさと朽ちゆく宿命の虚しさに惹かれ、軍艦島の撮影を続ける。2019年、ドローンを使って軍艦島を空撮した「My only hope (私のたった一つの望み)」を発表、直後から『デイリー・メール』、『ガーディアン』、『タイムス』誌や各種SNSで取り上げられ、話題となる。現在も毎週のように軍艦島のドローン撮影を続ける。全国の廃墟を探訪した写真を定期的に投稿するInstagramのフォロワー数は4万人を超える。

番線	注文数	日付	お名前	新刊 (写真集)	ISBN978-4-907902-41-4
	冊	/	様	<b>Ruins of the Future City ~軍艦島飛行~</b> 本体 3,000 円 + 税 ※B5判上製・96ページ(オールカラー)	
	<b>忘羊社</b>		〒810-0033 福岡市中央区薬院4-8-28 ▶TEL 092 (406) 2036 ▶FAX 092 (406) 2093		